

ろうさい ニュース

平成 30 年

2 月号

第 402 号

■生活習慣病外来について

健康診断部長 神田 宏

睡眠時無呼吸外来について

睡眠時無呼吸症候群（SAS）に対する睡眠ポリグラフィー（PSG）および持続陽圧呼吸療法（CPAP）は、呼吸器科に田久保医師が着任された十数年前から専門外来にて行なってきた歴史があります。地域の医療機関よりPSGを依頼いただき、患者さんに結果を説明したうえで、ご報告させていただくケースが多く、SASの高い有病率と診断におけるPSGの必要性から、病診連携が重要な疾患であることは論を待たないと思います。



PSGの適応については、AASM（American Academy of Sleep Medicine）のガイドラインや日本睡眠学会の声明をみると、PSGを重視する学会の考え方を理解することができます。ASSMのガイドラインではHSATが陰性の場合にPSGを強く推奨するとしている点なども、そのrationale（根拠と論理）とともに説明がなされています。

中等度から重症のOSAが疑われる場合は、簡易検査（HSAT）を選択されることが多くなってきている印象で、結果が治療開始基準に満たないとPSG適応となります。

また、心肺疾患、脳卒中歴、重度の不眠症などの併存している症例では、HSATよりはPSGの適応になってくるかと思います。

PSGについては、日本睡眠学会の声明(1)やAASMのガイドライン(2)をみると、PSGを重視する学会の考え方を理解することができます。ここで敢えて取り上げたさせていただきたいのは、HSATが陰性の場合にPSGを強く推奨としている点です。

日本睡眠学会では、エキスパートコンセンサスとして、OSAの疑いが強い場合はPSGの代替としてHSATを使用してもよいが、結果が陰性の時は、PSGの適用であるとしており、2017年のAASMのガイドラインでもHASTが陰性、判定不能または検査不適正の場合はPSGを推奨するとなっています。

総合的にPSGが必要と判断されましたら、当院の地域医療連携室にご連絡いただき、受診を予約していただく流れとなっています。検査入院は1泊で、月曜日～木曜日の午後4時までに入院受付をしていただき、翌朝10時ごろの退院予定となっています。翌週か翌々週の外来で結果を説明し、報告書とともに紹介もとの医療機関を受診していただくようにしています。

CPAPは自施設で導入されるケースが増えており、今後はPSGの実施から報告までが当院外来の基本的な役割になっていくものと考えています。当院で導入させていただき場合でも、安定化すればご紹介いただいた医療機関で定期フォローしていただく方向としております。

(1)伊藤 洋：「睡眠ポリグラフ検査の重要性についての意見書」睡眠学会からの声明、2015

(2) Kapur VK Auckley DH, Chowdhuri S, et al. Clinical Practice Guideline for Diagnostic Testing for Adult Obstructive Sleep Apnea; An American Academy of Sleep Medicine Clinical Practice. J Clin Sleep Med. 2017;13(3):479-504

禁煙外来について

喫煙の有害性と禁煙の有益性については、ここで述べるまでもないことかと思えます。当院は、ニコチン依存症に対する保険治療の可能な基準施設となっており、予約制で診療を行なっています。当院の地域医療連携室に連絡いただければ調整させていただきます。



最後に、今後も地域連携における当院の役割を果たしていけるよう、スタッフとともに地道に取り組んで参ります。何卒よろしく申し上げます。

■ 病病・病診連携アンケート調査について

先月に引き続き昨年先生方にご協力いただきました、病病・病診連携アンケート調査を報告いたします。今回は自由記載にご記載いただいた分について報告いたします。

- 患者さんの検査がスムーズに行われ、返事が早いので満足しています。
⇒ありがとうございます。引き続きスムーズな対応を心がけていきます。
- 症例検討会や講習会が大変有意義です。今後も継続してください。
⇒ありがとうございます。浜松 EAST 医療連携セミナー等講演会は引き続き開催していきます。
- 呼吸器外科の充実、泌尿器科の前立腺手術に対するダヴィンチ手術の導入を希望です。
⇒呼吸器外科の医師につきましては週 1 回月曜日のみの対応となっています。常勤医の赴任予定は今のところございません。また、ダヴィンチ手術につきましては、今のところ導入予定がございません。ご理解の程お願いします。
- 眼科は週 2 回のため新患を紹介しにくいです。常勤の医師がこれからくるのを願っています。
⇒ご迷惑をおかけして申し訳ありません。常勤医につきましては今のところ赴任予定がございません。月曜日と金曜日に非常勤医師が、診察を行っています。
- 耳鼻咽喉科を開設していただきたいと思います。
⇒耳鼻咽喉科につきましては、常勤医の赴任の目処が立っていません。当面の間、休診となります。ご迷惑をおかけして申し訳ありませんがご理解の程お願いします。
- 内科領域では、主治医の先生の専門外のことになると手薄になってしまうことがあるように思います。研修医の先生もいらっしゃるということです。総合的な視点で診察にあたって頂きたいと思います。診療情報提供書の返事や内容は個人差があり仕方ないところですが、診断名、処方薬、フォロー予定は記載していただくと助かります。各科で画像診断をされた場合、主治医の先生の見解のほかに、放射線科の読影結果も同封していただくと参考になりありがたいです。
⇒ご意見ありがとうございます。診療情報提供書の診断名、処方薬、フォロー予定につきましては、院内に周知し記載をお願いするように致します。放射線科の読影結果の同封も進めていくようにいたします。
- 帰りの出口で駐車券を入れた瞬間に「急いで出車して下さい」が繰り返しアナウンスされ、不快な気持ちになります。ご検討いただき改善できたらと思います。
⇒ご迷惑をお掛けしました。駐車券を入れた際に「急いで出車して下さい」が繰り返しアナウンスされないように設定しています。
- 報告書で専門外の言葉略字は分からないことがある、略字はさけてほしい。
⇒ご迷惑をお掛けして申し訳ありません。院内に略字の使用をさけるよう周知いたします。
- 土曜日午前、午後も診療していただくと助かります。
⇒ご意見ありがとうございます。土曜日につきましては通常の外来は開いていませんが、救急外来は 24 時間開いています。紹介等の場合は当院（電話：053-462-1211）までお問合せ下さい。

第30回浜松EAST医療連携セミナーの開催について

平成30年2月22日（木）に浜松EAST医療連携セミナーを下記のとおり開催いたします。今回は「**心不全チーム医療最前線**」がテーマです。ご多忙中恐縮ではございますが、ご出席いただけますようお願い申し上げます。

記

日 時：平成30年2月22日（木）

19:30～20:30

※19時から開放型病床運営会議を開催します。



場 所：浜松労災病院 6階 大会議室

講 師：兵庫県立尼崎総合医療センター 循環器内科診療部長 佐藤幸人先生

第31回浜松EAST医療連携セミナーの開催について

平成30年3月15日（木）に浜松EAST医療連携セミナーを下記のとおり開催いたします。今回は「**現代がん医療に生かす漢方～エビデンスの検証も含めて～**」がテーマです。ご多忙中恐縮ではございますが、ご出席いただけますようお願い申し上げます。

記

日 時：平成30年3月15日（木）

19:45～21:00

場 所：浜松労災病院 6階 大会議室

講 師：金沢医科大学 腫瘍内科学講座主任教授

集学的がん治療センター長 元雄良治先生



独立行政法人 労働者健康安全機構

電話 053-411-0366

受付時間

浜松労災病院 地域医療連携室

fax 053-411-0315

月～金 8:15～18:00 土 8:15～12:00